

<新型コロナウイルス感染症発生状況における研修等の対応について>

公益社団法人 大分県人権・部落差別解消教育研究協議会

2022. 6. 27 (月) 現在

新型コロナウイルス感染症については変異株の流行等により、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されています。しかしながら、感染状況にも変化があるため、大分県段階での各種研修のあり方も見直しが続けられています。このような状況下、大分県人教の研修等の対応判断基準についても見直しをしました。感染予防に努めて研修等を実施します。県内のみなさんで、共有をお願い致します。

1 研修の持ち方における基本方針

- (1) 大分県が発表する新型コロナウイルス感染症の感染状況のステージ（Ⅰ～Ⅳ）や厚生労働省の発表する情報等をもとに、研修実施の可否について判断する。
- (2) 原則事務局会議で決定し、メールや文書、ホームページ等で連絡する。急な変更の場合は参加予定者全員に連絡する。

2 具体的な対応について

(1) 教育会館で実施する研修講座や会議について

①大分県の感染状況がステージⅣ以上になった場合

ア 大分県教育会館での研修は実施しない。ただし、リモート研修等の工夫をして実施することはある。

②ステージⅢで実施する場合

ア 収容定員の概ね50%以内の人数制限を設け、密閉・密接・密集を避ける。研修中はドアを開けるなどの対策をとって開催することを原則とする。ただし、リモート研修等も併催します。

イ 受講者の職場に感染者が認められた場合は、教育会館での受講を控えていただき、リモート研修等をお願いする。

ウ 非接触温度計で体温が37度5分以上の人は、本人了承のもと、接触体温計で再検温する。再検温でも体温が37度5分以上の人は参加を遠慮してもらう。

エ 手指消毒・マスク着用等をしっかりと実施する。

オ 少人数協議をする場合、パーティションを設置する。

カ 講師については抗原検査キットを送付し、検査をお願いする。ただし、「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の出ている場所からの講師は、リモート研修等をお願いする。

③ステージⅡ以下で実施する場合

ア 収容人員以外はステージⅢと同様とする。

(2) 教育会館以外で実施する研修等について

①教育会館で実施する研修に準ずる。

②ヒューライツフォーラム等の大会や研修等は開催地と十分に協議し決定する。

(3) 参加者へのお願い

①各自でマスクの準備や着用をする。

②各自で健康管理に努め、発熱・せき等で体調の悪い人は研修参加を自粛する。